



四季の風

「分かる」から「身に付く」

学力調査結果報告

全国学力・学習状況調査（4月17日実施 3年生）

	国語A（基礎）	国語B（応用）	数学A（基礎）	数学B（応用）
本校	80.0	65.0	70.0	51.0
広島県	76.0	61.0	66.0	46.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9

	理科（全体）	理科（主として「知識」）	理科（主として「活用」）
本校	69.0	69.0	68.0
広島県	66.0	67.0	65.0
全国	66.1	67.9	64.9

本年度は、2年生対象の広島県の学力調査は行われませんでした。3年生の「全国学力・学習状況調査」について結果を報告します。

結果は全教科全タイプにおいて国や県の平均を上回りました。

国語科においては、全領域とも平均以上ですが、特に「話すこと・聞くこと」が他の領域に比べて大幅に高いことが分かりました。これは、「表現力」を付けたい力として全校で取り組んだ成果とも言えると思います。しかし「書くこと」の活用問題について、平均を上回っているとは言え35.8%の正答率には課題意識を持たなくてはなりません。

数学科においては、結果もですが同時に実施された質問紙の「数学の勉強が好き」「数学の授業の内容はよく分かる」が県平均を大幅に上回っていました。このように、教科の専門性を高め、「分かるから好き」「好きだから身に付く」授業を全教科で目指していきたいと思えます。

理科においては、昨年は2年生時の広島県の学力調査では県平均を上回ることができませんでした。しかしその後、何が定着していなかったのか振り返り、授業改善に生かしていきました。「Check（見直し）とAction（改善）」そして「指導方法の工夫」を繰り返す授業づくりについて、改めて全教科・全教員で共通認識していきたいと思えます。

また本年度は、本校が数年継続して課題としている家庭学習へも取り組み始めました。家庭学習時間が少しずつ増加したり、「もっと知りたい学びたい」と思う生徒が増えたりしていることに手応えを感じながら、日々精進していきたいと思えます。

「学び続ける児童生徒の育成」

～第3回小中合同研修会～

14日（金）は、全校生徒の部活動を無しにして、宮園小学校、四季が丘小学校の教職員と合同で、本校において授業研究会を行いました。

まず、2年生数学科の授業を本校の山田先生が公開しました。目標を設定し、課題を解決するためにグループ学習を取り入れるなど、日頃の指導の成果を参観していただきました。小学校の先生方からは「落ち着いて学習に取り組んでおり嬉しかった。皆で子供達が深まりを実感できる授業にしていきたい。」などの声をいただきました。



続いて、講師として招いた関西福祉大学加藤明学長による示範授業を参観しました。1年1組の生徒とは初めての出会いなので、コミュニケーションから入られるのではと思っていたのですが、いきなり「課題の提示」が始まりハッとしました。「無駄なときがない」と思ったのです。続いて学習内容は「二進法」で投げ入れ教材でしたが、生徒はどんどん引き込まれていき、課題の解決に向けてしっかり思考していました。これぞ数学の本質に迫る「深い学び」だと拝察しました。

その後、続けて講演いただいたのですが、内容は今まさに求められている「主体的、対話的で深い学び」の根幹となすものでした。我々はつい授業をこなすことに一生懸命になるのですが、学びの本質をしっかり抑えることについて再認識させられました。もちろん校種や経験による指導の差異はありますが、とにかくこれからは、校区をあげて「児童生徒が『深い学び』を追究する授業」を目指していきたいと思えます。



今後の予定

日	曜日	内容
9/19	水	参観日 PTA役員会（19:30～）
20	木	学年朝会／学校関係者評価委員会
21	金	試験発表／SC来校

明日9月19日(水)は参観日

14:55～15:45 参観授業
16:00～16:40 修学旅行説明会
※各会場は当日御案内します。
※駐車は誘導に従い体育館前に。
詰めて止めて下さい。
※スリッパを御持参下さい。